

【技術の名称】 VSM 工法 -スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法-	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 16-04 号 (更 2) 性能証明発効日：2022 年 7 月 27 日 性能証明の有効期限：2025 年 7 月末日
	【取得者】 株式会社沖伸建設 株式会社エコチカ

【技術の概要】

本技術は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本工法の特徴は、共回り防止翼直上の攪拌翼に、攪拌効率（強度増加）の向上を意図して鉛直縦方向の補助翼を配置していることである。

【更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第 16-04 号 (2016 年 7 月 26 日)
 更新：GBRC 性能証明 第 16-04 号 (更 1) (2019 年 7 月 10 日)
 GBRC 性能証明 第 16-04 号 (更 2) (2022 年 7 月 27 日)

【技術開発の趣旨】

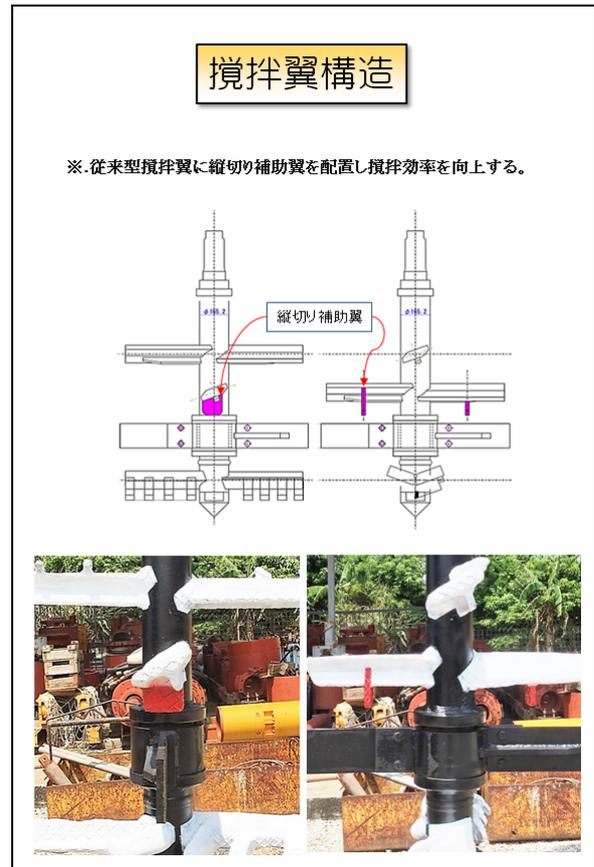
機械攪拌式深層混合処理工法では、改良土が攪拌翼に付着して一緒に回転する共回り現象を低減するために、共回り防止翼の形状や機構などに独自の工夫が施されている技術が多い。本技術では、攪拌翼に鉛直縦方向に配置した補助翼を設けることで、土の共回り現象による攪拌不良の低減および攪拌効率の向上を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「VSM 工法 施工マニュアル」に従って築造される改良体は、土質に応じて 400～2,000kN/m² の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層で 25%、粘性土層で 30%が採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



※.従来型攪拌翼に縦切り補助翼を配置し攪拌効率を向上する。

表 1 適用範囲

形状	杭状、ブロック状、壁状等
適用構造物	建築物、擁壁および二層物基礎
攪拌軸数	単軸
改良体径	φ 800 mm～φ 1000 mm
攪拌翼数	6 枚翼 (掘削翼を含む)
羽根切回数	360回/m以上
掘削・引上速度	1m/min以下
適用地盤※	砂質土、粘性土
最大改良長	10.0 m
固化材配合量	150 kg/m ³ 以上で配合試験による
設計基準強度	砂質土400～2000 kN/m ² 粘性土400～1200 kN/m ²

【本技術の問合せ先】

株式会社エコチカ 担当者：岩崎 徳孝
 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真喜志 2-4-8

E-mail：y-iwasaki@ecochica.co.jp
 TEL：098-987-5271 FAX：098-987-5272